

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公開番号】特開2010-87265(P2010-87265A)

【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-255041(P2008-255041)

【国際特許分類】

H 01 L 21/683 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/68 N

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

その上面に基板を吸着保持する貼り付けテーブルと、前記基板より広幅でロール状に巻き回された接着テープの幅方向両側付近を把持する左右一対のテープ把持部材を備え、該テープ把持部材で該接着テープを把持しながら所定量基板上に引き出すテープチャック機構と、この引き出した接着テープを押圧して該基板に貼り付ける貼り付けローラとを備える基板への接着テープ貼り付け装置であって、

前記両テープ把持部材は、

それぞれが前記接着テープの上面側に位置する上側チャックと該接着テープの下面側に位置する下側チャックからなり、前記両チャック間での該接着テープの把持と該接着テープの幅方向に沿った互いの接近離反動が可能に構成され、

前記テープチャック機構は、

前記左右のテープ把持部材を接着テープの幅方向内側に向けて付勢する弾性部材と、前記左右のテープ把持部材を互いに接近離反動させるとともに接着テープを把持した際に該接着テープの幅方向に働く張力をトルク値として検出するモータとを備え、

前記接着テープをテープ把持部材で把持する際に上側チャックと下側チャックとが接着テープの幅方向に沿って前記弾性部材で内側端に位置するように付勢された状態で上側チャックと下側チャックとで接着テープを把持するとともに前記モータで所定のトルク値となるように左右のテープ把持部材を互いに離反動させることにより該接着テープの幅方向への張力が所定の張力となるように制御しながら基板に接着テープを貼り付けるようにしたことを特徴とする基板への接着テープ貼り付け装置。

【請求項2】

前記弾性部材の接着テープ幅方向内側に向けての付勢力は、前記左右のテープ把持部材が接着テープの幅方向へ接近離反動する際の摺動抵抗よりも大きく、かつ前記接着テープの幅を所定幅に保つために必要な張力よりも低く設定されていることを特徴とする請求項1に記載の基板への接着テープ貼り付け装置。